2020年2月25日

会社名　株式会社メタップス
（コード6172:マザーズ）
住　所　東京都港区三田１丁目４番１号
住友不動産麻布十番ビル３F
代表取締役　山﨑祐一郎
問合せ先　経営企画部　松村敦子
電話番号　TEL 03-6459-4670

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたのでお知らせ致します。

記

〈開催状況〉

開催日時　2020年2月17日(月)　15時30分～16時30分
開催方法　対面による実開催
開催場所　トラストシティカンファレンス丸の内
（東京都千代田区丸の内1-8-1丸の内トラストタワーN館11階）

説明会資料　2019年12月期通期決算説明資料

2019年12月期通期（2018/9-2019/12）

決算説明資料

株式会社メタップス（TSE:6172）

当社グループは、2019年12月期第1四半期より、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。過去業績との比較を容易にするため、本資料では、過年度についてもIFRS15号を適用したプロフォーマ情報を使用しています。

■ 通期決算（2018年9月～2019年12月）

※2019年12月期は、決算期変更の移行期につき16ヶ月の変則決算になります。

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

通期決算のまとめ

- ✓ 国内ファイナンス事業の中核であるメタップスペイメントが堅調。当社グループ入りして以降、4期連続で営業利益拡大。2020年1月、セブン銀行との資本業務提携を発表し、新たなファイナンス関連サービスを準備中

- ✓ 子会社売却を含む事業ポートフォリオの見直しを実施。海外子会社で展開していた暗号通貨事業の撤退に伴い、一時的な損失を計上するも、キャッシュアウトは無く財務基盤への影響なし

- ✓ 事業環境の変化を踏まえ、中期経営方針における数値目標の撤回、新たな中期経営方針の策定準備を開始。国内ファイナンス事業への積極投資と、ブロックチェーン関連の新規事業への投資を継続

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

業績サマリー

国内ファイナンス事業及びマーケティング事業の堅調な推移により、一時損失の影響を除くと直近12ヶ月の売上高及び粗利は過去最高。事業ポートフォリオの見直しに伴い、営業利益及び最終利益が赤字着地

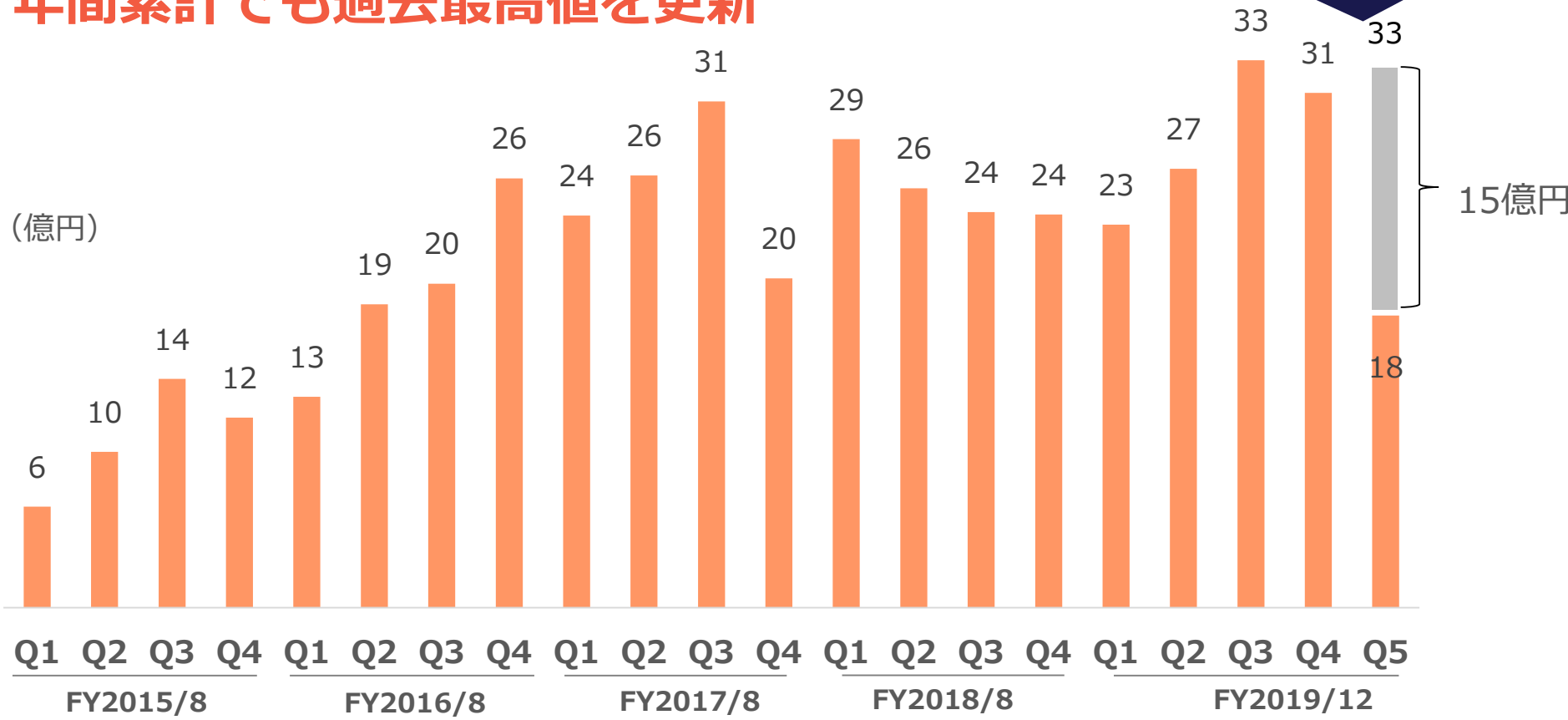
（単位：百万円）	2018年8月期 通期（9－8月）	2019年12月期 通期（9－12月）	vs 前年同期比
売上高	10,240	13,292	+30.5億円
売上総利益 % 売上高	4,136 *40.4%*	5,609 *42.2%*	+14.7億円
のれん等減損額 （営業費用に含む一時損失）	-	▲3,677	-
EBITDA % 売上高	294 *2.9%*	▲2,295 *na*	▲25.9億円
営業利益 % 売上高	▲214 *na*	▲2,990 *na*	▲27.8億円
参考）一時損失を除いた営業利益	-	687	-
親会社の所有者に帰属する当期純利益 % 売上高	▲454 *na*	▲2,861 *na*	▲24.1億円

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

売上高推移

暗号通貨事業撤退に伴う、一部自社保有通貨の評価替えの影響を除くと売上高は四半期ベースで堅調に推移 年間累計でも過去最高値を更新

暗号通貨の評価損益は売上計上。Q5において一部自社保有通貨を今後のボラティリティリスクを考慮し、保守的に簿価ゼロに評価替え。評価変動の影響額は、約15億円（詳細はP.9）

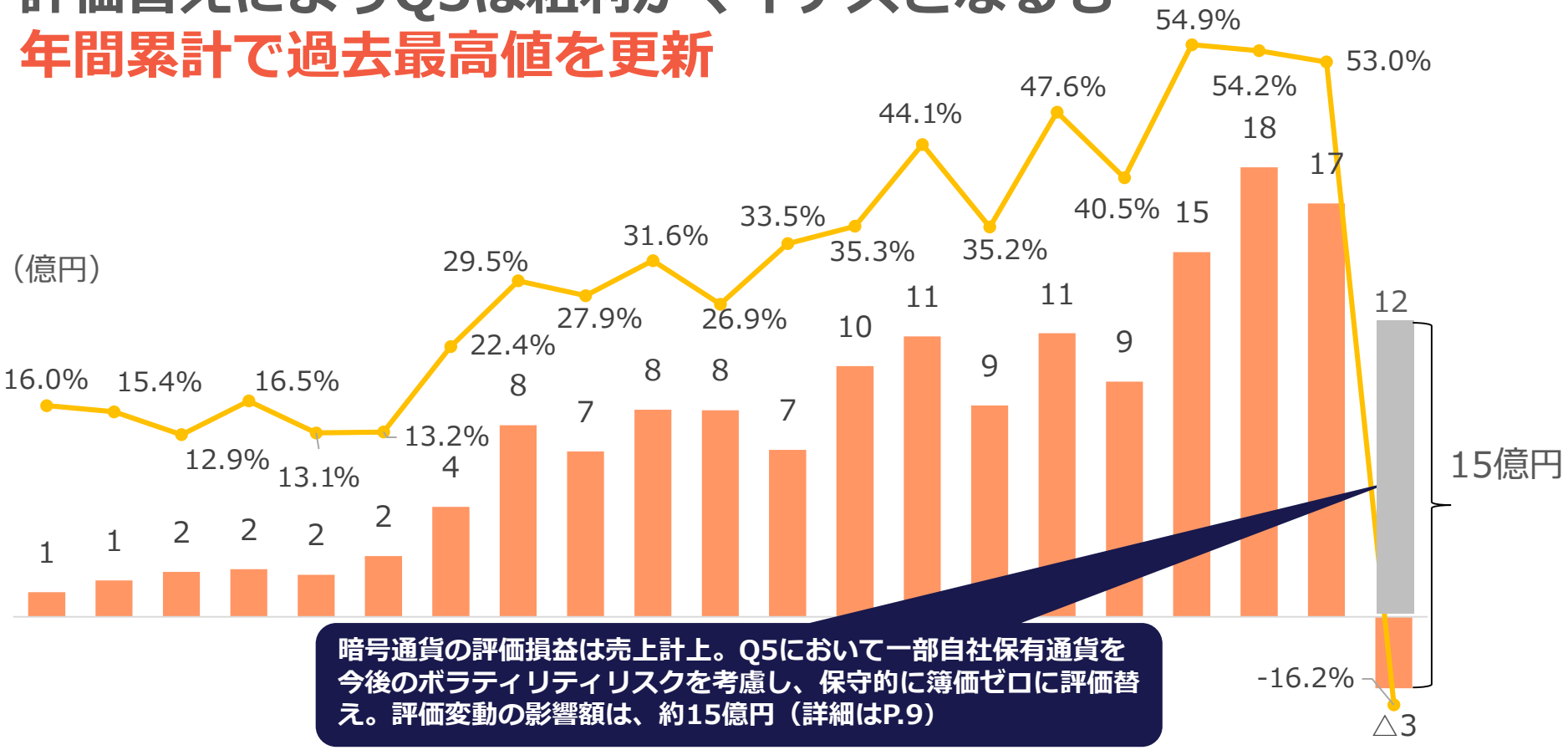


（注）2015年8月期第4四半期以前は日本基準、2016年8月期第1四半期以降はIFRS。2016年8月期第3四半期から2018年8月期第4四半期は、IFRS第15号適用を想定したプロフォーマ情報。

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

売上総利益推移

暗号通貨事業撤退に伴う一部自社保有通貨の評価替えによりQ5は粗利がマイナスとなるも
年間累計で過去最高値を更新



Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q5

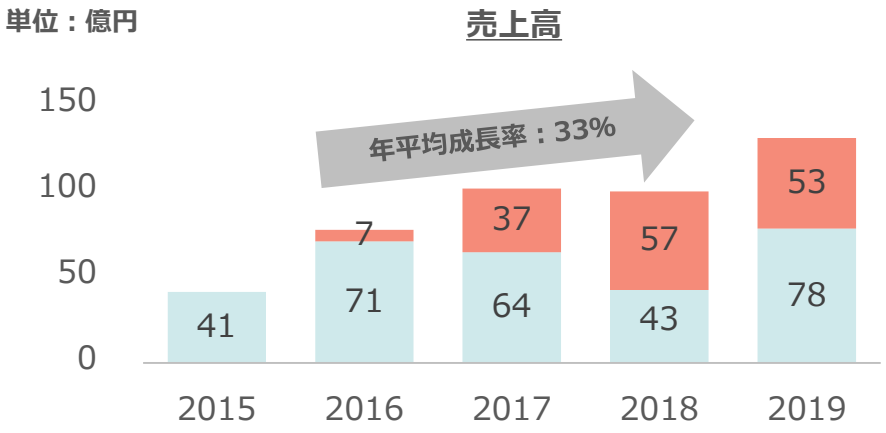
FY2015/8 FY2016/8 FY2017/8 FY2018/8 FY2019/12

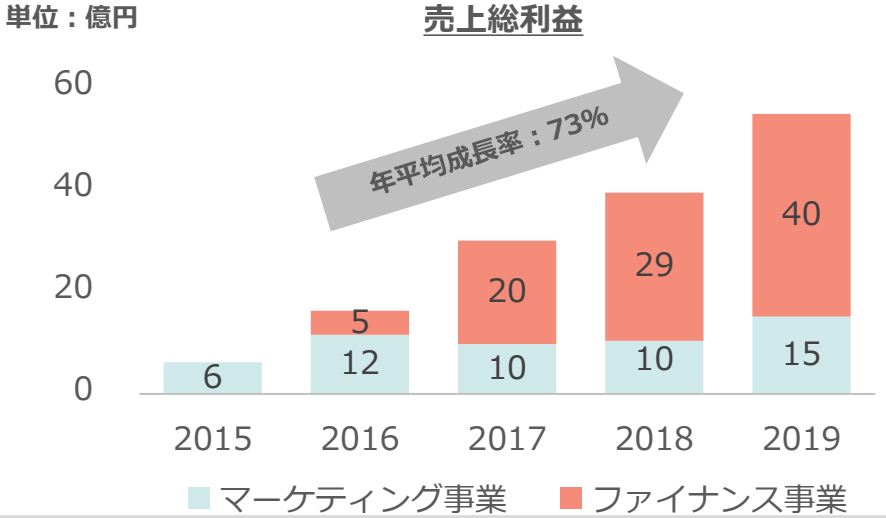
（注）2015年8月期第4四半期以前は日本基準、2016年8月期第1四半期以降はIFRS。2016年8月期第3四半期から2018年8月期第4四半期の粗利率は、IFRS第15号適用を想定したプロフォーマ売上高を基に算出。

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

事業セグメント別業績推移

国内ファイナンス事業における収益貢献拡大により年平均73%の粗利成長を記録、今後も新規サービス展開加速により更なる拡大見込む。マーケティング事業は成長事業から安定収益事業へ





- ✓ 国内ファイナンス事業は、オンライン決済が順調に伸長
- ✓ 新規事業として、給与即時払いサービス“CRIA（クリア）”やサブスク型決済サービス“会費ペイ”が急成長。加盟店数がサービス開始から月次24%で増加（詳細 P.22）

会費ペイ　CRIA

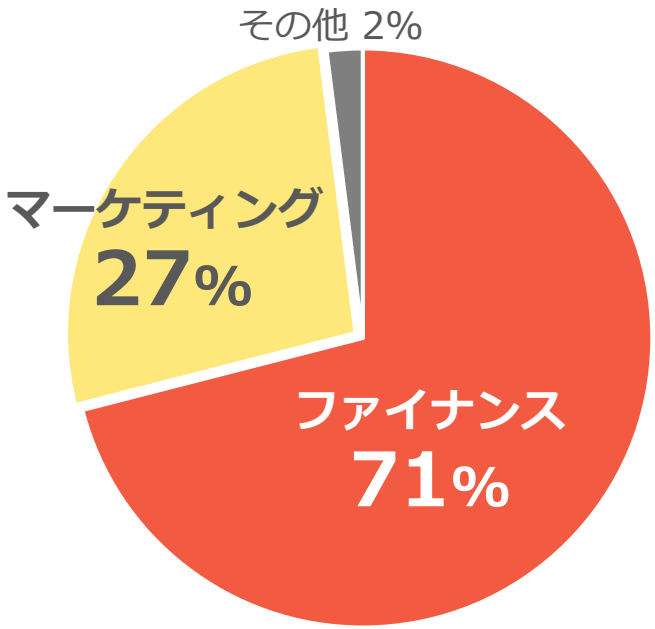
- ✓ 国内マーケティング事業のメタップスワンは、ターゲット市場を絞り、中堅顧客へのサービス提供に注力
- ✓ 海外マーケティング事業（中華圏）は、中国のゲーム企業による海外展開が引き続き活発であり、安定的な広告収益を確保

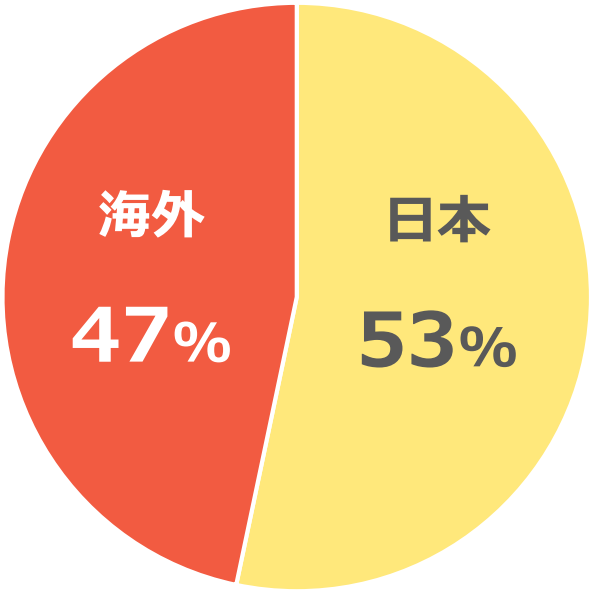
© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

事業及び地域セグメント

マーケティング事業が復調も、事業ポートフォリオの見直しを機に、今後は国内ファイナンス事業の拡大が加速する見通し

2019年





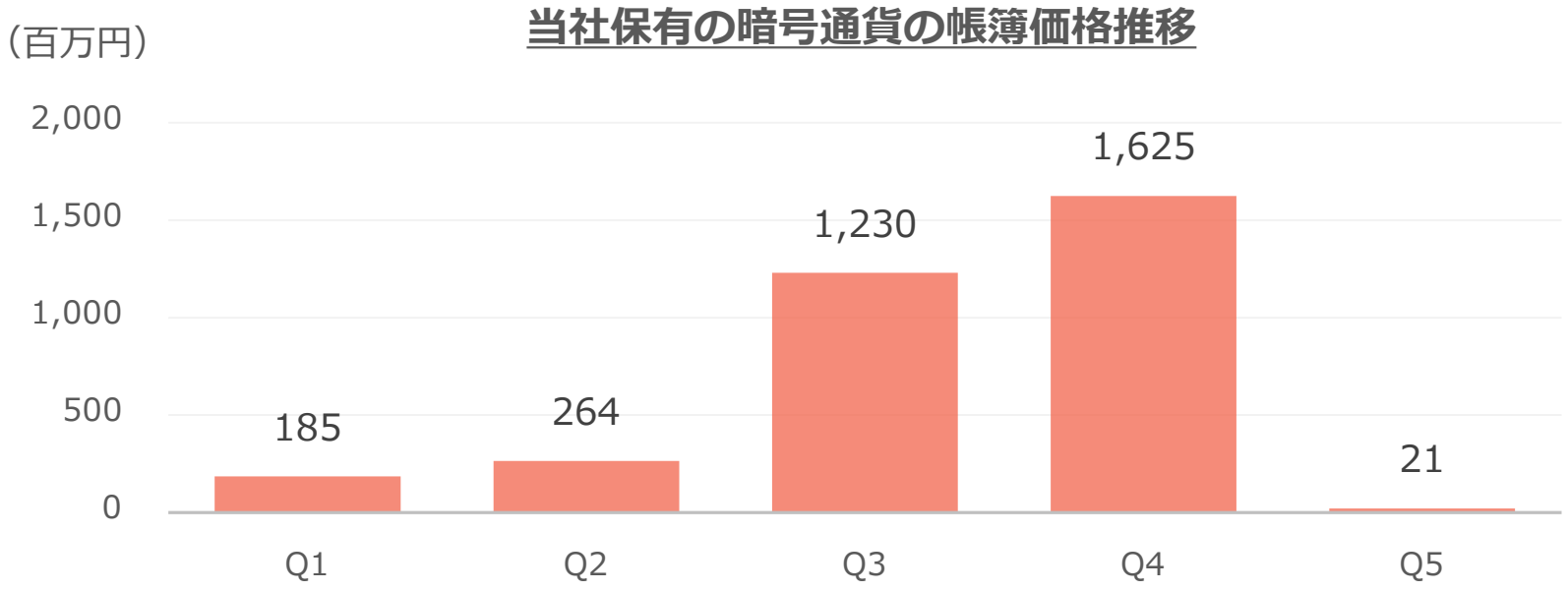
売上総利益：56億円

※　当期より、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しており、実態に沿った事業セグメント比較を行うため売上高でなく売上総利益での事業セグメント比較を掲載

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

保有暗号通貨の保守的評価に伴う業績影響について

- ✓ 暗号通貨（トレーディング目的で保有）は、四半期毎に時価評価し、その**評価損益を売上高として計上**
- ✓ これまでは暗号通貨の**評価損益が当社業績に大きく影響**
- ✓ 暗号通貨事業撤退に伴い、流動性の低い暗号通貨は簿価ゼロと評価し、今後の**ボラティリティリスクを排除**



© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

暗号通貨事業撤退に伴う特別損失計上について

- ✓ 韓国事業：のれんの減損損失2,161百万円及びその他無形資産の減損損失1,044百万円、計3,205百万円の減損損失をその他の費用に計上
- ✓ MCG Asia Pte. Ltd.：ソフトウェアの減損損失269百万円をその他の費用に計上
- ✓ 詳細につきましては、2月14日公表の「事業ポートフォリオの見直し及び今後の注力領域並びに中期経営方針に関するお知らせ」、「子会社（孫会社）の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」及び「減損損失等の計上に関するお知らせ」をご参照ください

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

■ 2019年度の振り返りと今後の経営戦略

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

2019年度の振り返り（組織再編）

- ✓ 経営のスピードアップを図るため、増加したグループ子会社を組織再編。コア・ノンコアを明確にし、一部事業は閉鎖・売却
  - タイムバンクMBO（大規模投資と経営の機動性確保のため）
  - pringの非連結化（増資に伴い持分法適用会社に変更）
  - 中華圏事業を統括する持株会社、Metaps Entertainment設立
  - 国内マーケティング子会社3社を統合し、メタップスワン設立
  - VSbiasの非連結化（増資に伴い持分比率減少）
  - 海外マーケティング事業を展開していた米・英拠点を閉鎖
  - DACとJV形式で協業して来たトーチライトの株式を売却
  - UPSIDEの売却及び暗号通貨事業の撤退
  - 親会社によるメタップスリンクスの吸収合併（予定）

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

2019年度の振り返り

- ✓ 約1年にわたり協議を継続してきた韓国におけるICOの会計処理が決まり、**繰延収益を売上として認識**
- ✓ **IFRS第15号の適用**に伴う、主にファイナンス事業における売上の純額計上により、**売上高及び原価が減少。**利益への影響なし
- ✓ あらゆる人と、メタップスが出会うメディア**”meetaps（ミータップス）”**がオープン ～オウンドメディア開設～
- ✓ ブロックチェーンを活用したデジタルアイテムマーケットプレイス**”miime（ミーム）”をリリース**
- ✓ 更なる事業拡大に向けて、アドバンテッジアドバイザーズから資金調達を実施（最大調達金額：30億円）
- ✓ 開発リソースの最適化とエンジニアの連携強化を目的に新たに開発部を発足し、**グループ横断で開発支援**
- ✓ **セブン銀行と資本業務提携を発表し、**ファイナンス事業における協業開始（詳細次頁）

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

セブン銀行との資本業務提携について

2020年1月10日、当社グループはセブン銀行との資本業務提携を発表

- ✓ 2020年1月、当社グループ及びセブン銀行はファイナンス事業における協業開始
- ✓ 本提携を機に、メタップスグループおよびセブン銀行グループ、両社の関係性をより強固なものとし、**双方の知見や保有するアセットを効果的に活用した共同事業の展開を目指す**
- ✓ 第一段階として、給与即時払いサービス**「CRIA」のサービス強化に取り組む**

株式譲渡の概要

対象子会社	株式会社メタップスペイメント
譲渡先	株式会社セブン銀行
譲渡割合	20%
譲渡価額	20億円

株式会社セブン銀行の概要

会社名	株式会社セブン銀行
代表者	代表取締役社長 舟竹 泰昭
設立	2001年４月10日
所在地	東京都千代田区丸の内 1-6-1
大株主及び持株比率	株式会社セブン-イレブン・ジャパン（38.47%）
連結経常収益	147,288百万円
URL	https://www.sevenbank.co.jp

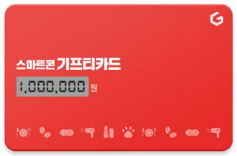
© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

当期は、果敢に新規事業やプロダクトの立ち上げに挑戦し、多くのサービスをローンチ

re:shine
働くを、もっと楽しく簡単に

会費ペイ
サブスク型決済サービス

Metaps Bridge
アプリデータ活用支援サービス



モバイル統合型商品券

mini² games
3rd Partyメディア向け
マネタイズプラットフォーム

給与即時払いサービス
CRIA（クリア）

miime
ブロックチェーンを活用した
デジタルアイテムのマーケットプレイス

SMART ORDER
飲食向け事前決済予約システム

miel
AIファッションマッチングアプリ

meetaps
あらゆる人と、metapsが交わる場所

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

2020年12月期以降の方針について

上場後、2019年まで

全張り

ファイナンス、マーケティング、コンシューマー、ブロックチェーン（暗号通貨、ICO、 NFT）、マイノリティ出資等幅広く投資

2020年以降

フォーカス&掘り下げ

ファイナンス領域に絞り、利益成長が可能な事業に集中投資。グループミッションに合致しない事業はスピンアウト

✓ テクノロジー業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、今後も戦略の見直しは機動的に行う

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

OUR MISSION

テクノロジーでお金の在り方を変える

目標

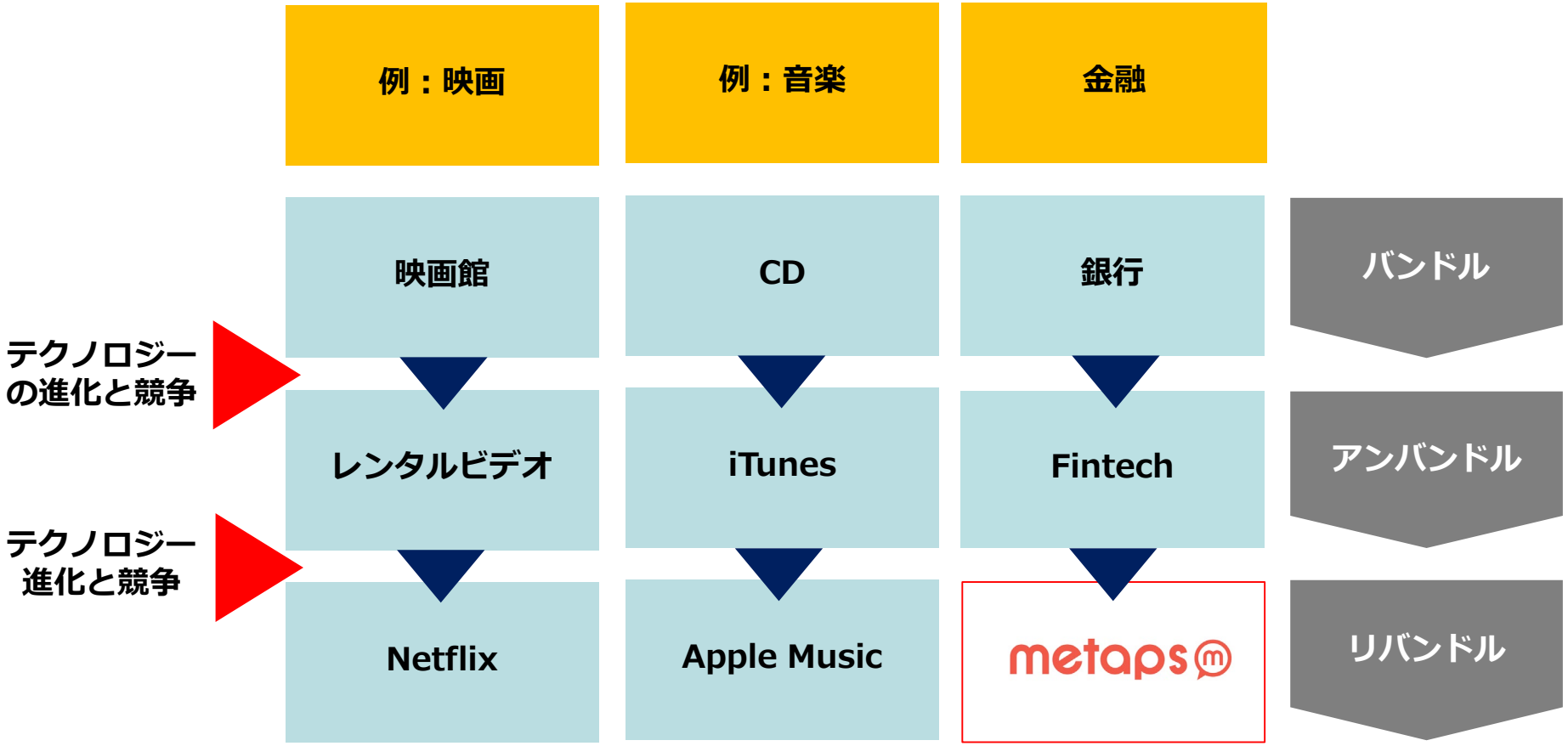
次世代の新しい金融機関のロールモデルを作る

※2016年10月17日公表の“中期経営方針”に掲載

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

次世代ファイナンス企業の考え方①

フィンテックは、金融機関の機能をアンバンドル（分離）されただけのサービスが主流のフェーズで、今後リバンドル（再統合）が起こり、当社にとって大きなチャンス



© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

決済を軸に様々な金融サービスへ事業参入を検討。単独で参入が難しい事業は既存金融機関と積極的に提携を進める

＜事業方針＞

✓ 決済基盤を活用

最も消費者に近い決済サービスを軸に、周辺領域でシナジーの強い順にサービス拡充していく

✓ 全方位展開

ファイナンスを当社の事業の柱にすることを前提に、決済、給与、送金、投・融資等の全ての金融サービスを新しいビジネスモデルとして再定義していく

✓ 提携の強化

免許業種など、自社単独での展開が難しい場合は、既存の金融機関と積極的に提携を進め、協業により事業拡大を目指す



© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

主なファイナンス関連子会社

グループの枠を超えて、様々な金融サービスを展開予定

metaps

80.0%

metaps PAYMENT

- ✓決済事業（オンライン＆オフライン）
- ✓パッケージ・ソリューション事業（家賃決済・会費ペイ・イベントペイ等）
- ✓トラスト事業（給与即時払いサービスCRIA等）

会費ペイ

CRIA

79.8%

metaps+

SMARTCON

- ✓ 電子マネー＆クーポン事業（オンライン＆オフライン）

Upside

- ✓ 暗号通貨取引所事業

UPXIDE

⇒事業ポートフォリオ見直しに伴う子会社株式売却により事業撤退

45.3%

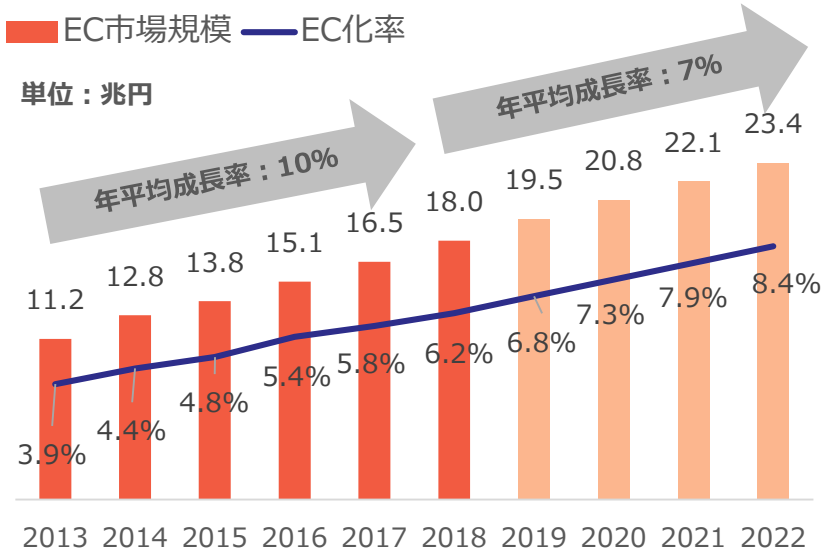
pring（プリン）

- ✓ P2P送金サービス
- ✓ B2C送金サービス（交通費、経費精算等）
- ✓ ファンコミュニティ向け投げ銭サービス
- ✓ QR決済サービス

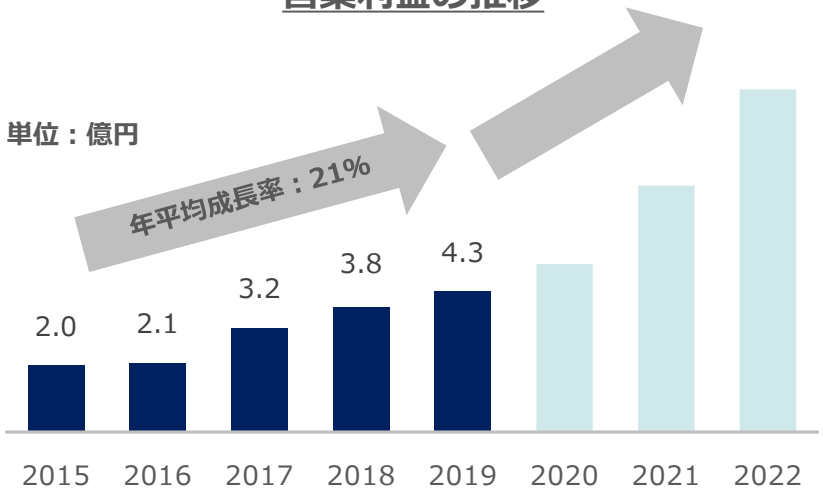
© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

メタップスペイメントの事業環境と戦略①

B2CのEC市場規模とEC化率推移



営業利益の推移



metaps PAYMENT

- ✓ 国内B2CのEC市場は年率10%で拡大し、20兆円の市場規模に成長。一方、国内EC化率は、欧米水準と比較すると引き続き低位にあり、今後も市場拡大が予測される
- ✓ 国内決済事業においては、キャッシュレス市場拡大の恩恵を受けながらも、価格競争激化もあり業務効率化を追求
- ✓ 企画力・開発力を武器に”会費ペイ”や”イベヱトペイ”等の決済を軸としたパッケージ・ソリューション事業をニッチ領域で提案。トラスト事業として、給与即時払いサービス“CRIA（クリア）”も本格稼働
- ✓ セブン銀行との資本業務提携により、全国25,000台のATMを活用した新規サービスなど様々なファイナンス事業を準備中

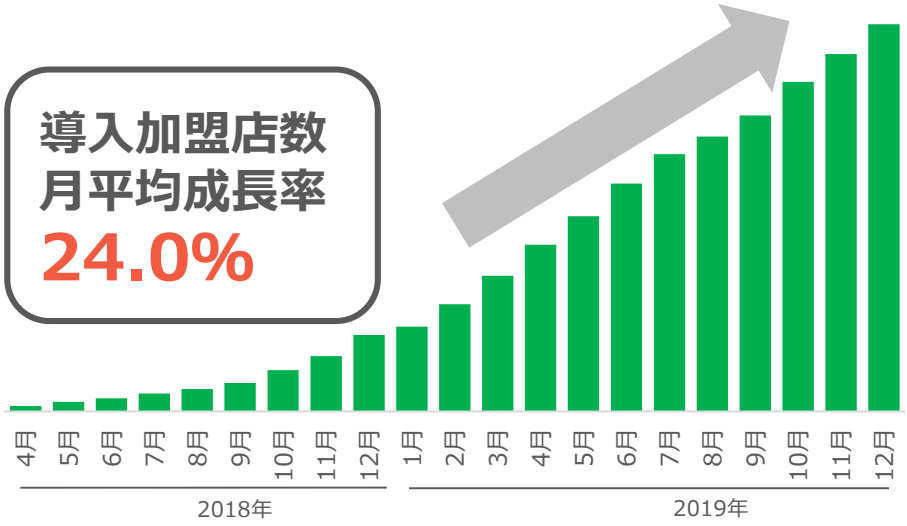
（注）経済産業省：平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）。2019年以降は、みずほFG及び当社予想。営業利益は調整後IFRS数値

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

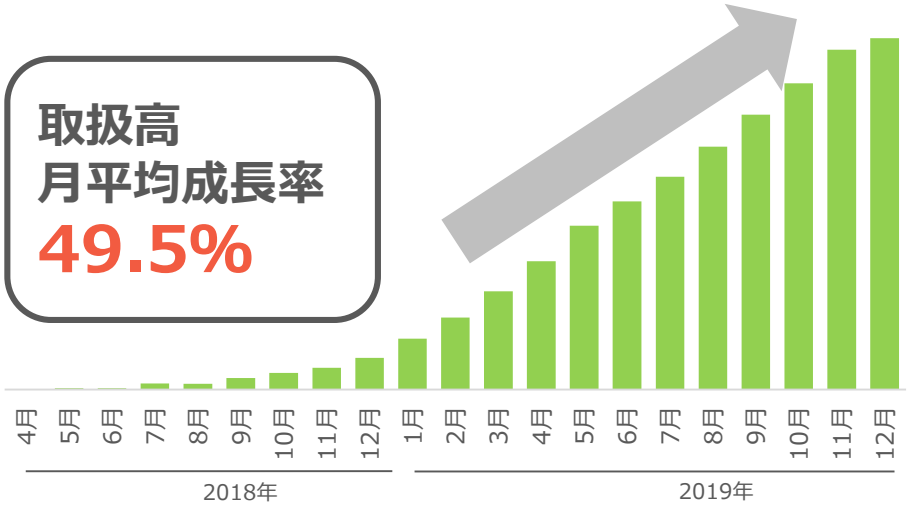
メタップスペイメントの事業環境と戦略②

グループでも成長著しい“会費ペイ”（サブスク型決済サービス）は、開始から1年半で事業が急拡大

導入加盟店数
月平均成長率
24.0%

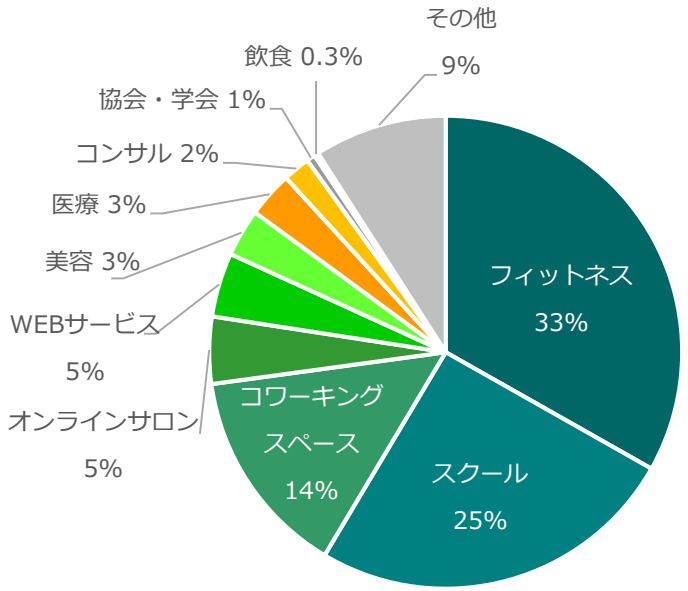


取扱高
月平均成長率
49.5%



会費ペイ

導入加盟店：業種分布



© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

ブロックチェーン事業も全張りから絞り込みへ

当面は、ブロックチェーン（NFT (1)）を活用したデジタルアイテムマーケットプレイス”miime（ミーム）”に注力

〈拠点〉	metaps α 日本	UPXIDE 韓国	MCG Asia シンガポール
〈注力領域〉	miime ブロックチェーンを活用した デジタルアイテムのマーケットプレイス NFT (1) プラットフォーム	暗号通貨取引所 韓国国[illegible]	(2) [illegible]金融） [illegible]ビス

2019年12月期を以って事業撤退

（1）NFT：Non-Fungible Tokenの略語
（2）DeFi：Decentralized Financeの略語

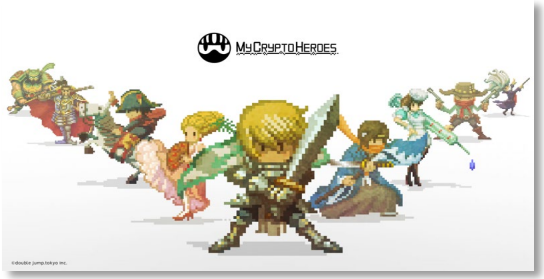
© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

“miime（ミーム）”の事業進捗

- ✓ My Crypto Heroesのローンチ以降、NFT（1）の二次流通の取引高が徐々に増加。直近リリースのブレイブフロンティアヒーローズが起爆剤になるか注目
- ✓ 2020年度は、複数の中堅大手ゲーム会社からNFTを活用したゲームがリリースされる予定

連携済みブロックチェーンゲーム

My Crypto Heroes



ブレイブフロンティアヒーローズ



The Sandbox



Gods Unchained



クリプトスペルズ



（1）NFT：Non-Fungible Tokenの略語

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

ブロックチェーンゲーム先進国である日本において唯一のNFT（1）マーケットプレイスとして、ゲーム会社及びコミュニティと密に連携を取り市場の発展に貢献

市場創出フェーズ　市場拡大フェーズ

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
Step1	Step２	Step３	Step４
サービス基盤の確立	ゲーム連携強化 （プラットフォーム化の布石作り）	収益モデル拡大準備	サービス規模拡大
• NFTマーケットプレイスをリリース。国内の著名ゲームタイトルから徐々に取引シェアを獲得し、サービス基盤を確立	• 各ゲームからの被リンク獲得 • ゲームコミュニティへのミームの浸透を強化 • ゲーム会社向けのツールやAPIを提供開始	• ユーザービューを集めるためのコンテンツ拡充 • 広告配信システムの試験提供開始	• 非ゲーム領域のデジタルアイテムにもマーケットを拡大
FY2020も継続	FY2020に注力		

（1）NFT：Non-Fungible Tokenの略語

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

2016年10月17日公表の“中期経営方針”の見直し

✓ 2017年から新規事業として取り組んだ韓国暗号通貨事業を取り巻く世界的な規制の複雑化・不確実性の継続	✓ 今後の規制対応、セキュリティ・監査コスト等を踏まえ、当初想定した収支計画の達成が難しいと判断し、事業撤退
✓ マーケティング事業におけるゲーム業界を中心とした広告主による予算抑制や、獲得競争の激化による成長鈍化	✓ マーケティング事業を成長事業から安定収益事業として位置づけ、ターゲット市場を絞り、中堅顧客へのサービス提供に注力
✓ キャッシュレス及び銀行サービスのデジタル化加速により、着実な成長を続ける国内ファイナンス事業における更なる投資機会の広がりを認識	✓ ”会費ペイ” 等のパッケージ・ソリューションや、給与即時払いサービス“CRIA”を新たに展開。セブン銀行との資本業務提携により、今後様々な協働を検討中

現行中期経営方針の最終年度を前に、見直しを実施。国内ファイナンス事業を中心とした、新たな中期経営方針を2020年度中に公表予定

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

まとめ

- ✓ グループとして、“全張り”から“フォーカス＆深堀り”の投資へ
- ✓ ミッションに回帰。テクノロジーでお金の在り方を変える次世代ファイナンス企業を目指すため、ファイナンス事業にフォーカス
- ✓ 中長期ではブロックチェーン技術へ投資するも、暗号通貨事業は撤退
- ✓ ファイナンス事業を軸とした、新たな中期経営方針の策定開始

ミッション・ビジョンの実現を目指す

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

■ ご参考

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

経営理念

MISSION
存在意義

テクノロジーでお金と経済のあり方を変える
テクノロジーを駆使して、世界中に埋もれている価値を有効活用することで、経済やお金の在り方を変える

VISION
目指す姿

世界の頭脳へ ～To be the World's Brain～
コンピュータにあらゆるデータを学習させ、人々の最適な意思決定を支える頭脳になることを目指す

VALUE
価値観

- データにフォーカス
- 創造的破壊とスピード
- 過去に固執しない柔軟さ

STRATEGY
経営戦略

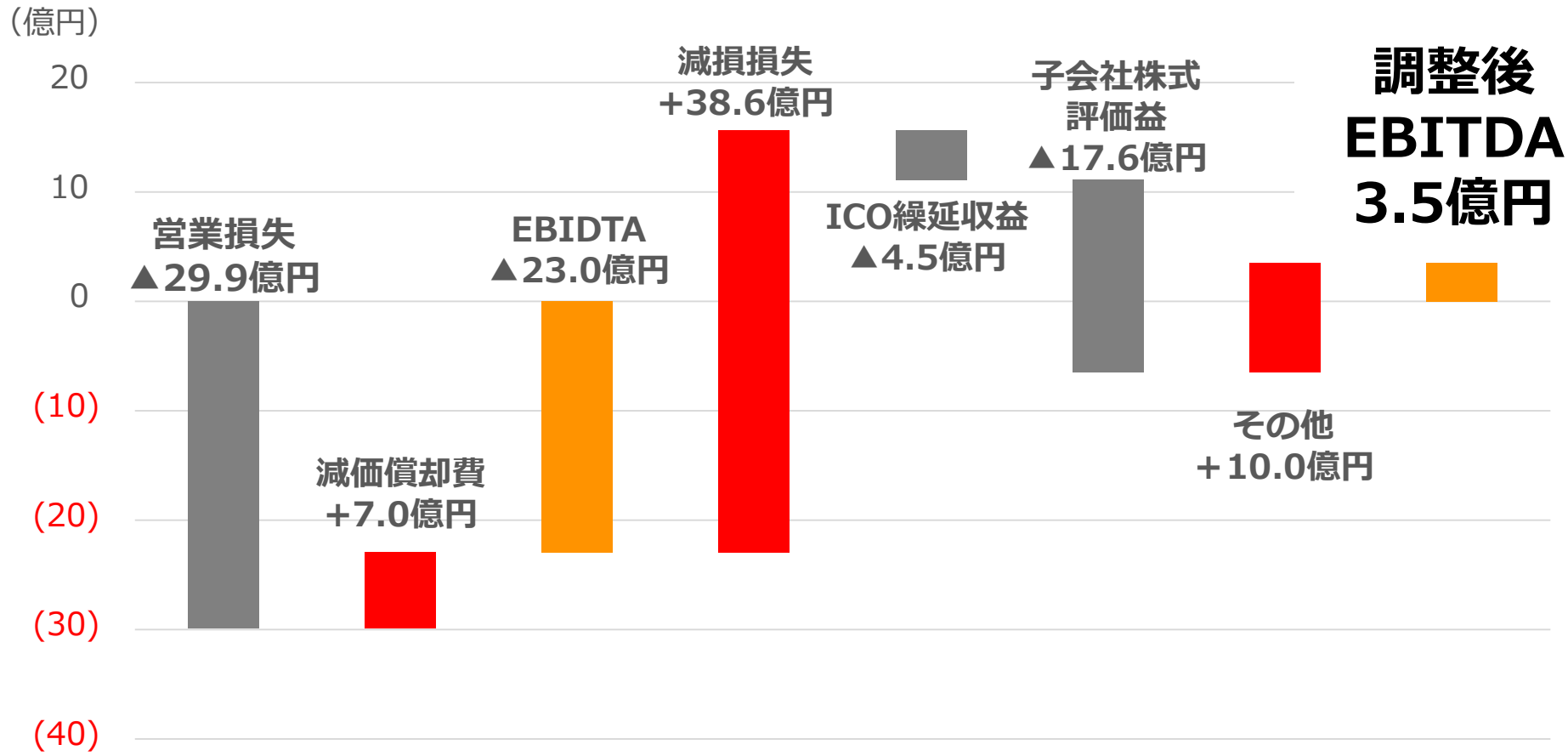
- **ファイナンス**
  決済、送金、融資等
- **マーケティング**
  データ分析、コンサル、広告等
- **コンシューマー・その他**
  メディア、ブロックチェーン等

グループのミッション・ビジョン・バリューに沿って、
各事業ごとに経営戦略・事業戦略・事業計画を立案し実行

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

EBITDA及び調整後EBITDA

暗号通貨事業撤退に伴う減損、ICO、子会社株式評価益など一時的な増減要因を控除した調整後EBITDAは3.5億円



（注）営業活動には直接的に関係のない、一時的な要因を外した数値を示すことで、当社グループの継続的な業績を理解いただくことを目的とする。
従来のEBITDA（営業利益+減価償却費）に加え、IFRS関連費用、組織再編費用、M&A関連費用等を調整。

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

グループ組織図①

マーケティング
ファイナンス
その他

メタップス（持株会社）

Metaps Entertainment
- ✓ 越境マーケティング事業（オンライン＆オフライン）
- ✓ 越境ゲームパブリッシングサポート事業
- ✓ ゲームプラットフォーム事業

メタップスワン
- ✓ インターネット広告事業
- ✓ データフィード事業
- ✓ マーケティングソリューション事業
- ✓ 商品検索＆アプリメディア事業

メタップスペイメント
- ✓ 決済事業（オンライン＆オフライン）
- ✓ パッケージ・ソリューション事業（家賃決済・会費ペイ等）
- ✓ トラスト事業（給与即時払いサービスCRIA/クリア）

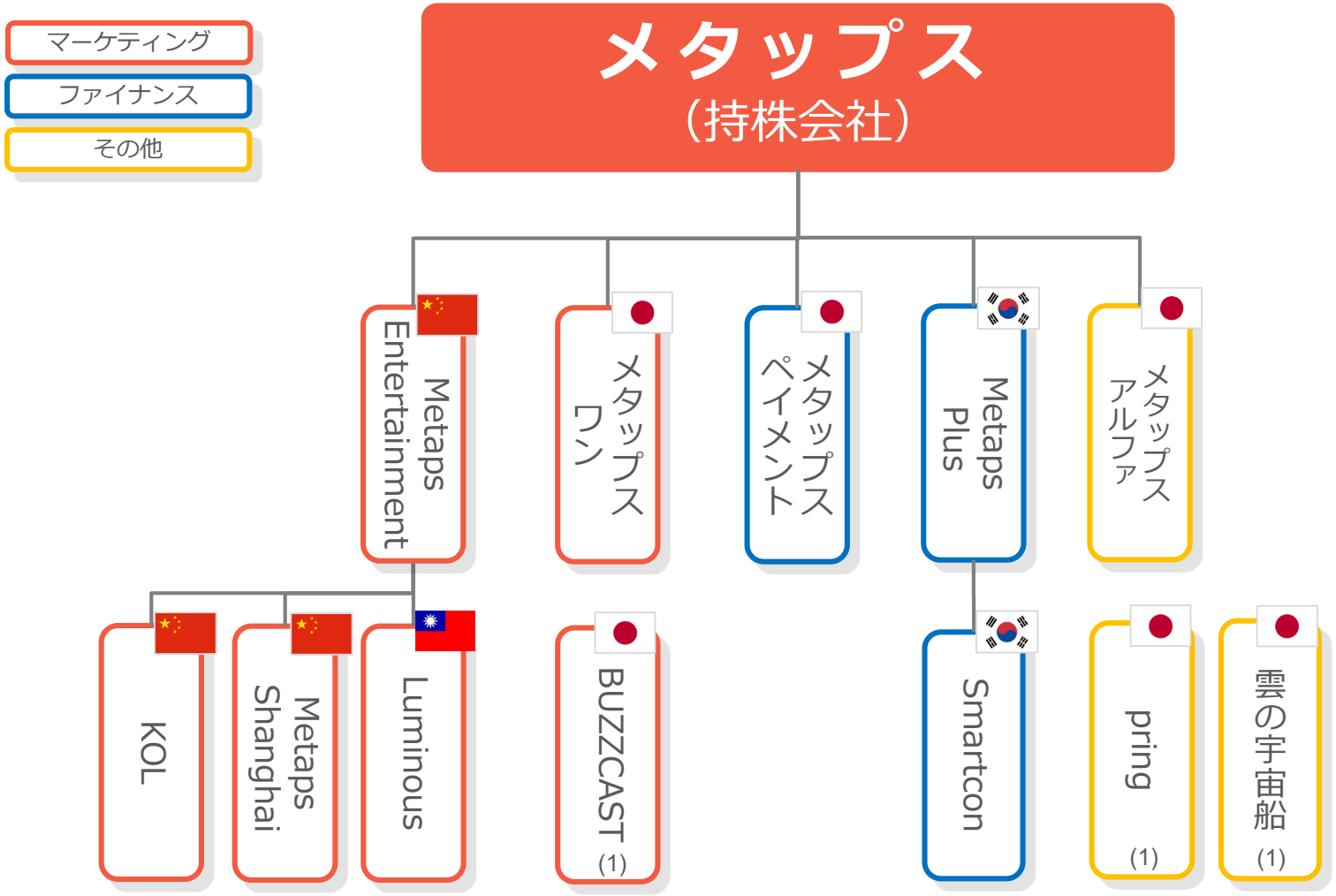
Metaps Plus
- ✓ 電子マネー＆クーポン事業（オンライン＆オフライン）
- ✓ アプリマーケティング事業

メタップスアルファ
- ✓ ブロックチェーン事業（マーケットプレイス＆ブロックチェーンゲーム導入コンサル等）

※孫会社及び持分法適用子会社は次ページ

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

グループ組織図②



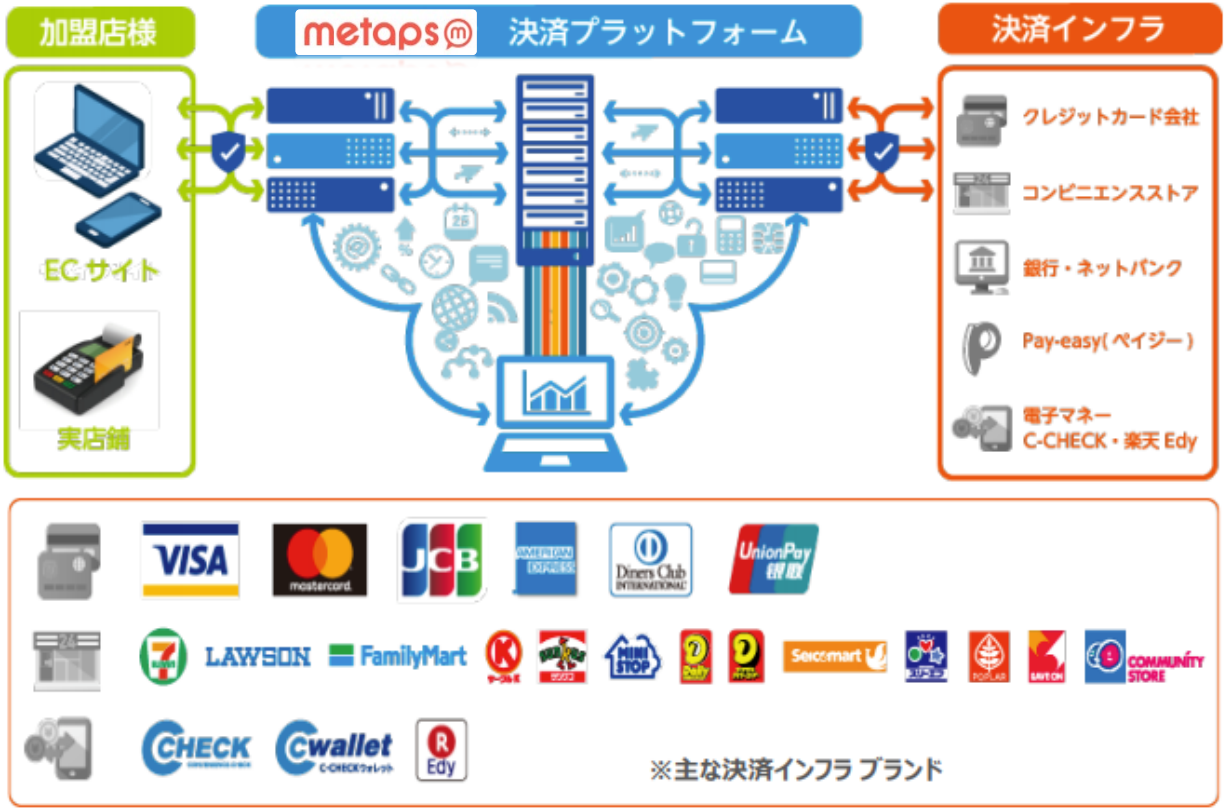
(1) 持分法適用会社

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

ファイナンス事業：決済事業

metaps PAYMENT

- EC 決済事業：E コマース市場における各種決済サービス
- リアル店舗決済事業：店舗におけるクレジットカード決済サービス
- 家賃決済事業：不動産業界における各種決済サービス
- 電子マネー事業：電子マネーの販売・発行・決済サービス
- イベント決済事業：イベントにおけるWEB 申込受付・決済サービス



従来の多彩な各種決済インフラを取り揃えている強みを生かし、業界のニーズに沿った新しいサービスを開発し、付加価値を創出しEC市場に発信しています。引き続き利便性が高い、安全・安心な決済を提供いたします。

チケットペイ

イベントペイ

@メールでビュン!!

CREDIT

セキュリティ： PCI DSS準拠 / ISMS認証取得 /プライバシーマーク取得

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

ファイナンス事業：会費ペイ（サブスク型決済）

会費ペイは入会申込・会員管理・請求管理・決済の自動化支援ツール。これまでの様な、紙の入会申込書や口座振替依頼書、顧客管理エクセル、請求データCSVは不要

会費ペイ

＝

各種スクール、ジム、習い事、学会、協会などの運営に必要な「申込書」「会員情報」「請求情報」を、一つのシステムで管理し、運営に関する事務を自動化します。運営者様が本当に注力すべき業務に注力できる環境づくりを支援します！



入会申込 Webフォーム ＋ **会員管理 システム** ＋ **請求管理 システム** ＋ **決済**

選べる決済方法

カード決済

VISA / mastercard / AMERICAN EXPRESS / JCB / Diners Club INTERNATIONAL

運営者様が指定した月日に
登録したカードに自動継続課金

コンビニ決済

FamilyMart / LAWSON / Seicomart / Daily YAMAZAKI / MINI STOP / ヤマザキデイリーストア

自動継続課金が失敗した際に、
自動催促メールで利用可能

口座振替

BANK

毎月26日に
登録した口座に自動課金
※口座登録はWebから即可能

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

大手加盟店の獲得など、事業拡大に向けて準備加速

背景

- ✓ 海外では米国の「ペイロールカード」等、新たな給与支払い手段が拡大
- ✓ 2018年12月、政府が「電子マネーによる給与支払い」解禁の方針を発表
- ✓ 国内では人口減少もあり、企業の採用難易度が年々上昇し、人材不足が経営課題

CRIA（クリア）の特徴

- ✓ 従業員がいつでも給与を受け取ることができ、働いた対価の流動性を確保することで安心感が生まれる
- ✓ CRIA導入により、企業の求人応募数が増加し、定着率も向上
- ✓ 企業の導入手数料は無料、利用者が手数料負担（業界最安値）
- ✓ 原則24時間365日受け取り可能、セブン銀行ATMでの現金受取サービス

CRIA



ATM 受取 セブン銀行の口座が無くても利用が可能

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

MISSION

テクノロジーでお金と
経済の在り方を変える

metaps

VISION

世界の頭脳へ

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.

免責事項

本資料の取り扱いについて

この資料は、株式会社メタップス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。本資料は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

© 2020 Metaps Inc. All Rights Reserved.